

POTTプログラム研修in広島市立リハビリテーション病院

ポジショニングで口から食べる
喜びを実感！



「ひみこ」で姿勢の安定を体験◎



姿勢と嚥下の関係は重要□

体幹をしっかり支えることが大切☆



スプーンを入れる位置を確認♡



日時:2017年1月25日 17:30~19:00

参加者:25名(当院看護師)

講師:迫田綾子先生

サポーター:藤井博美さん, 竹内富貴さん(摂食嚥下障害看護CN)

＜受講者の感想＞

- ・姿勢調整することで、楽に食べることがわかった
- ・スプーンテクニックも学んだ
- ・見た目と患者の実際は違うのを体験した
- ・見た目が楽そうでも実際は苦しいことがわかった
- ・背抜き、足抜きはやっていきたい
- ・実際の患者の視線での体験ができた
- ・クッションの位置で、安楽の違いがわかった
- ・患者にどんな感じか、確認をしながら実施していきたい

ポジショニングで「こうすれば食べられる」ということの根拠を理解し、スキルを身につける大変貴重な機会となりました。翌日から患者さんの自立支援に役立てています。この取り組みを継続し、患者さんの持つ強みを最大限に活かすことのできる看護を仲間と共に実践していきたいと思っております。参加してくださった皆さん、迫田先生をはじめ指導してくださったCNの皆さん、本当にありがとうございました！

広島市立リハビリテーション病院
摂食嚥下障害看護認定看護師 川端直子